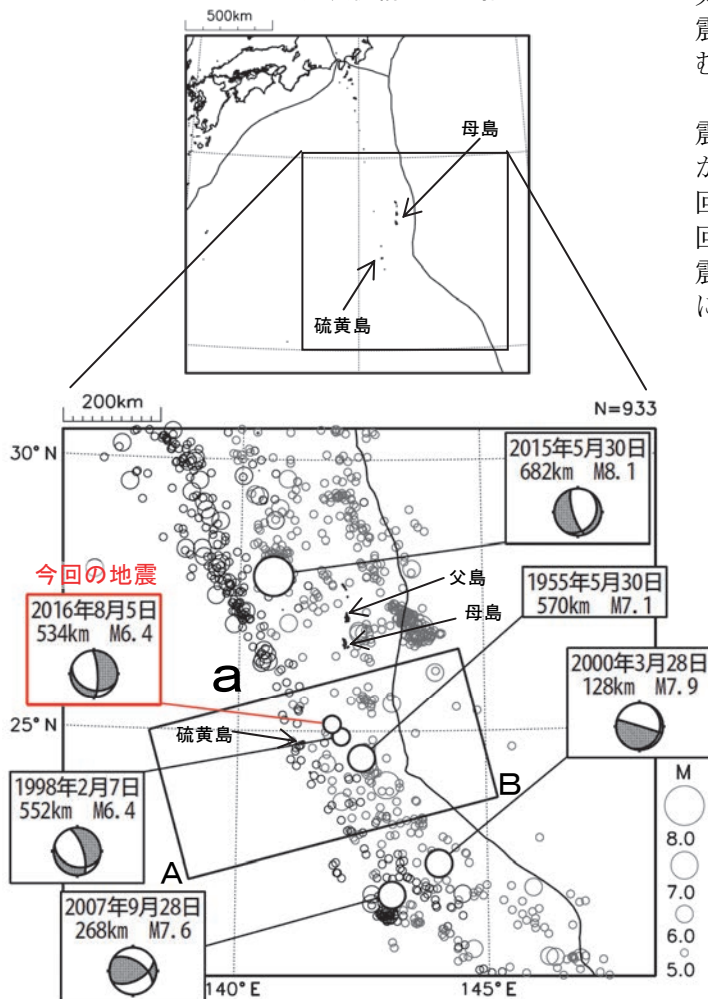


8 月 5 日 硫黄島近海の地震

震央分布図

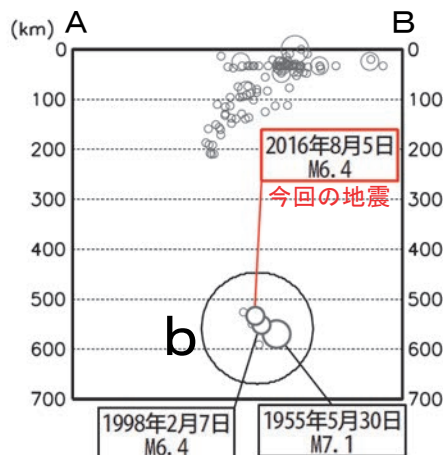
(1950 年 1 月 1 日～2016 年 8 月 31 日、
深さ 0～700km、 $M \geq 5.0$)
100km より深い地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



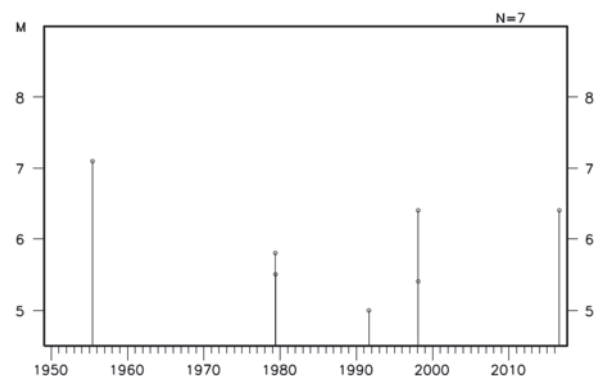
2016 年 8 月 5 日 01 時 24 分に硫黄島近海の深さ 534km で $M6.4$ の地震（東京都小笠原村で最大震度 2 を観測）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は、太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

1950 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 b）は、 $M5.0$ 以上の地震が時々発生する程度で、 $M6.0$ 以上の地震は今回で 3 回目であった。1998 年 2 月 7 日に、今回の地震とほぼ同じ場所で $M6.4$ の地震（最大震度 2）が発生した。また、1955 年 5 月 30 日には $M7.1$ の地震が発生した。

領域 a 内の断面図（A－B 投影）



領域 b 内の M－T 図



※震源要素は米国地質調査所による。ただし、1997 年以降の地震で、震央分布図中に吹き出しを付した地震の震源要素、CMT 解は気象庁による。